

1. 当事者・家族等の活動支援及びピアサポートの活用に係る事業

活動内容	詳細	場所・開催日・参加者	感想・次回に向けて
精神疾患のある方の家族向け講座 『成年後見制度について ～親亡き後の生活サポート～』	話題提供：コスモス成年後見サポートセンター千葉県支部（小笠原さん、利用者 2名） 内容：成年後見制度、手続きの流れ、制度を利用して実際にどんな支援をしてもらえるのかを伺う。 成年後見を実際に利用されている当事者の方から、利用したきっかけ、利用して良かったことなどを伺う。	東部公民館 10/9（木）午後 14-15:30 オアシス St 2名 参加者 27名 （うち当事者1名、GHスタッフ1名）	・後見の事がよく分かった。不安が解消された。安心できた。 ・利用している人の体験談でより分かり易く、どんなサポートがあるのか分かった。気づきがたくさんあった。 ・後見制度はお金がかかる事や不正の事件など良いイメージがなかったが、実際利用している人の話を聞いて現実的な内容を知ることができた。 ・自分達が亡くなった後の事が心配だった。準備できることは自分たちが元気なうちにしていきたいと改めて思った。
精神疾患のある方の家族向け講座 『自立訓練・生活介護について ～ステップアップの準備・自宅以外の居場所～』	話題提供：マルクカレッジ（自立訓練事業所 スタッフ1名）、コン（生活介護事業所 スタッフ2名、ピアスタッフ1名、利用者1名）、船橋市障害福祉課 1名 内容：各事業所の説明や特色、利用当事者の声を伝える。障害福祉課よりサービス申請の方法や日中サービスについての説明。	東部公民館 11/13（木）午後 14-16時 オアシス St 2名 参加者 18名	・コンの様な事業所があること知り、勉強になった。 ・利用者さんがサービスを受ける事で活動範囲が広がった話がとても有意義で、色々な方の事を知ることができれば良いと思った。 ・具体的な自立訓練の説明があり分かり易かった。家族は通わせたいが、本人は拒否するため通えない。サービス申請もできない。本人の気持ちを変える為の相談に乗ってくれる、本人と話し合ってもらえる事業所や団体を紹介してほしい。良いサービスがあっても使えない。

2. 障害者等の地域生活支援に係る事業

活動内容	詳細	場所・開催日・参加者	感想・次回に向けて
総武病院 (交流会 きらっと)	療養病棟入院患者と地域生活についての質問に答えたり、みんなでアイディアを出しながらお話しすることで、地域生活を短いに感じてもらう。 ①『見て、聞いて、地域の暮らしを知ろう』 …質問を書いたクジを引きながらクジ引きトーク ②『医療サービス・福祉サービス』 …前半でピアがサービス利用の体験を発表し、入院患者からの質問回答	①7/16 (水) 14時～15時 オアシス ピア4名 St 3名 病院 Pt 8名 St 2名 ②12/17 (水) 14時～15時 オアシス ピア 5名 St 3名 病院 Pt 4名 st 2名 ③3/11 (水) 14時～15時 オアシス ピア 4名 St 3名 病院 Pt 4名 st 2名	①クジで色んな質問が出て、多角的な答えがあり良かった。消極的な患者様には声かけ必要。場をほぐすために、スタート前の工夫ができると良い。 参加して「色んなサービスが分かって良かった」「皆も悩みつつ頑張っている」「会話のキャッチボールになった」と感想をいただく。 ②滑り出しがゆっくりだったが、事前のアンケートをきっかけにGHや訪看の話題につながった。グループトークの時間が足りなかった。患者様が飲み物を飲みながら話せると良い。 参加して「もう少し話が聞きたかった」「多少なりは分かった」と感想をいただく。 ③初めて総武病院で双六をやり、自然に協力し合って進めていた。進みが目まぐるしい印象もあり、動作がゆっくりの患者様がいた場合は配慮が必要。オアシス側の進め方や、マスの内容も改善の余地あり。来年度も双六導入し、連続した月で実施を予定。
船橋北病院 (地域生活いこう会)	①②共に同様の内容 ・院内で開催されている「地域生活いこう会」プログラムの1コマへ参加 ・地域活動支援センターの紹介 ・ピアサポーターと入院患者で地域移行すごろくを利用し、地域生活や福祉サービスについて情報提供する。	①8/5 (火) 10-11:30 オアシス ピア 7名 St 3名 病院 Pt 6名 st 7名 ②12/2 (火) 9:40-11:15 オアシス ピア 7名 St 3名 病院 Pt 4名 st 5名	・一人で外出が難しいが一緒に行ってもらえるサービスはあるか？訪問看護でどのような事をしてもらっているか？などピアサポーターへサービスについての質問が出ていた。 ・参加して「楽しかった」「退院する元気が出た」「(止まった)マスで話が弾んで楽しかった」などの感想をいただく。 ・職員からは「ピアサポーターが来てくれると、患者さんの新たな一面が引き出されて良い」「楽しみながら学べて良い」という感想をいただく。
千葉病院 (よろず相談)	「誰でも気楽に相談に来れる」院内の外来図書コーナーをお借りして、ピアサポーターが1時間滞在。病棟へ案内チラシを掲示し、興味のある方等が集まっていただき、参加された方から、その時話したい話題について伺い、お話しする。個別での対応も可能と声掛けもしている。 同じ場所で定期的(第3水曜)に開催する事で色々な方が参加できる様にしている。	①9/17 (水) 14時～15時 オアシス ピア 2名 St 2名 病院 Pt 8名 St 2名 ②10/15 (水) 14時～15時 オアシス ピア 2名 St 2名 病院 Pt 6名 St 1名 ③11/19 (水) 14時～15時 オアシス ピア 3名 St 2名 病院 Pt 5名 St 1名 ④2/18 (水) 14時～15時 オアシス ピア 2名 St 2名 病院 Pt 6名 St 1名 ⑤3/18 (水) 14時～15時 オアシス ピア 2名 St 2名 病院 Pt 8名 St 1名	①個別の相談も可能と伝えるが、皆で話したいとの希望。2グループでフリートークをおこなう。退院についてや病棟での生活について話される。 ②①回目に昨年度の双六の話題となり持参する。みなさん双六を希望。退院後の生活を遊びながら経験。 ③前回の双六で話題に上がった社会資源について、チラシを持参。みなさんが気になるサービスについて、ピアサポーターが実際に使っているサービスなどざっくばらんに話す。 ④グループホームについて相談。複数の事業所パンフを回覧しながら、食事や入浴、費用についてなど質問を受ける。 ⑤食生活や多飲水について皆で意見を出し合いつつ話す。グループホームに興味のある方にはチラシを見ながら情報提供。

3. 地域生活支援関係者等に対する研修に係る事業

活動内容	詳細	場所・開催日・参加者	感想・次回に向けて
福祉施設見学会 ・精神科病院職員（総武病院、船橋北病院、千葉病院）が参加を対象に、退院後利用できる障害福祉サービス事業所等の見学。 ・オアシスにてピアサポーターと交流。	・見学施設 ・オアシス（地域活動支援センターⅠ型） ・こんぼーる（就労継続支援B型） ・ベルサポ（就労継続支援B型・生活介護） ・エポライフ（生活訓練） ・総武病院、船橋北病院、千葉病院が参加	①10/31（金）参加者 3名 オアシス ピア 3名 st 3名 ②11/14（金）参加者 4名 オアシス ピア 2名 st 4名 ③11/28（金）参加者 4名 オアシス ピア 2名 st 3名	・自分のやりたい事、居場所など実際に利用されている場所を見て、生活がイメージし易くなった。 ・各事業所の活動の違いを見る事ができて良かった。 ・ピアサポーターからの生の声を聞いて良かった。 ・病院でのピアサポーター交流会に関わりがあったが、実際の場所を知れて良かった。
地域移行支援についての啓発活動	地域移行支援 関係職員座談会 ・地域移行支援を実施している事業所と、支援の導入や地域移行支援の方法等、業務について意見交換をおこなう。	11/25（火） オアシスにて開催 一般相談支援事業所 クルー、じらふ、ひまわり苑	今まで市内で実働している事業所同士で意見交換をする場がなかったので、支援における工夫や苦労する事などを共有するよい機会となった。
	市内精神科病院への啓発 ・精神科病院の職員に対し、地域移行支援の内容や導入するメリット等を改めて説明。また病院職員からも事業所に求める事や困難ケースの例等を聞くことで利用促進を図る。	①9/26(金) 船橋北病院にて オアシスst 2名 参加者 6名 (PSW) ②10/29(水) 千葉病院にて オアシスst 2名 参加者 26名 (PSW,Ns,OT)	病院側がどんな場合に地域移行を導入しているか、求めている支援がどんなことか、事業所側ができる支援はどんな事か 等を意見交換し、すり合わせをした。後日実際に新規の相談につながった。
地域移行関係職員研修会 「病棟から地域へ～事例で考える地域移行支援～」 市内病院職員、一般相談支援（地域移行支援）研修	市内3病院の職員へ退院支援の難しさ、地域の医療・福祉体制の課題、今までの支援で効果的だった取り組みなどのアンケートをおこない、架空事例を作成。 事例を元にグループワークをおこなう。 入院患者への退院支援について、各機関の役割や精神障害者の安定した地域生活に必要な支援について話し合う。	1/21（水）15時半～17時 会場：千葉病院 会議室 オアシス St 4名 参加者 11名 （病院職員：9名、Fas-net 2名）	・色々な職種の方との意見交換で、異なる意見・視点を聴けて勉強になった ・地域移行支援でどのようなことに取り組む事ができるのか学べた。 ・各病院での取り組みやそれぞれの職種の考え方や退院支援の進め方も意見交換できた。 ・必要な支援や課題を知るためには、もっと当事者の事を知ろうと思った。 ・地域移行支援について知らない点が多かった。 ・連携が必要 ・地域移行支援で成功した事例を聞いてみたい
地域職員向け研修会 「医療に繋がりにくいケースについて～事例を通して考える～」	医療中断や引きこもり、未治療の精神疾患の方への支援について、窓口をしている「さーくる」「船橋市保健所」より実際の支援をうかがう。また、地域の支援者が業務の中で出会う課題等をグループワークを通じ共有し、地域課題を掘り下げていく。	3/10（火）14-16時 場所：船橋市役所 本庁分庁舎 3階 会議室 オアシス St 4名 講師 さーくる 3名 保健所 1名 参加者 39名 訪問看護 11名・病院 5名 高齢（包括・在介センター）10名 相談支援 2名 福祉事業所 6名 薬局 2名 行政 3名	・保健所より精神包括ケアについての説明 ・保健所、さーくるより事例紹介 ・『事例について』『日頃の役割や感じている事、課題について』ワールドカフェを活用してグループワークをおこなう ・ひきこもりの支援は『イベント待ち』になりがち。親は本人の希望通りに動いてしまうまた、本人が困らないため、支援や医療に繋がりにくいなどの意見をいただく。 ・アンケートでは多職種でグループワークでき、色々な立場の意見を聞いて良かった。引き続き同じような研修をおこなうことで、行政や事業所との連携が深まるのではないかと考えた。との意見があった。